

【第3回】食品の化学物質対策研究会

開催日●2011年7月15日(金) / 会場●飯田橋レインボービル1階「C・D会議室」

●コーディネータ

湯川 剛一郎氏

財団法人日本食品分析センター
参与 テクニカルサービス部 部長

*開催のねらい

対応を迫られるトランス脂肪酸問題の行方とフードディフェンスの実施事例にフォーカスし、食品各社の製品安全と品質保証に必須の実務情報を提供すべく企画致しました。今回新たに「情報交換会」の時間を設け、講師と参加者を交えたフランクな意見交換と対策・課題の深掘りを試みます。

開催プログラム *10時~16時20分

【第1部 管理が求められる化学物質—トランス脂肪酸対策】

1. トランス脂肪酸問題は今後どうなるか

(10:00~10:45)

全国消費者団体連絡会
事務局長

阿南 久氏

1. 消費者庁「トランス脂肪酸の情報開示に関する指針」と栄養成分表示検討の状況
2. 日本人の直面する栄養摂取に関する問題点と栄養成分表示のあり方
3. 消費者教育・啓発における消費者団体と企業の“協働”

2. 食品中のトランス脂肪酸の実態と管理

(10:45~11:30)

財団法人日本食品分析センター
多摩研究所 副理事・副所長
栄養科学部 部長

五十嵐 友二氏

1. トランス脂肪酸の規制と表示に関する世界の現状
2. 国内の食品中含量と摂取量の実態
3. トランス脂肪酸の分析法
4. 消費者庁ガイドラインと表示の詳細

休憩10分

情報交換会

司 会：湯川 剛一郎氏 財団法人日本食品分析センター (11:40~12:40)

下記の視点から講師陣との対話、会場からの質疑を交え、ポイントとなる点を確認し今後に備える。

1. 表示対象となる食品の考え方
(どのような食品に表示を行う必要があるのか)
2. 表示の根拠・データの取り方
3. 消費者の誤解を招かない表示の方法、記載事項
4. トランス脂肪酸表示に起因する消費者の過剰な反応を防ぐために、
どのような情報を消費者に提供すべきか

<12:40~13:30 ランチブレイク>

【第2部 食品工場におけるフードディフェンスの実際】

3. 食品に対するトレーサビリティとフードディフェンスへの取り組み

キューピー株式会社 執行役員
生産本部 生産技術部 部長

篠原 真人氏

1. 製造工程の間違いを、その場で止めるしくみ (13:30~14:15)
2. 食品のトレーサビリティの考え方
3. フードディフェンスへの取り組み

4. 加工食品へのタンパリング事例とメーカーの対応策について

(14:15~15:00)

江崎グリコ株式会社
商品開発研究所 所長

宮木 康有氏

1. 食品包材に求められる要件
2. タンパリング事例の紹介と対策
3. 今後の課題、食品産業の向かう方向

<15:00~15:15 コーヒーブレイク>

情報交換会

司 会：湯川 剛一郎氏 財団法人日本食品分析センター (15:15~16:15)

下記の視点から講師陣との対話、会場からの質疑を交え、ポイントとなる点を確認し今後に備える。

1. 生産、流通段階の意図的汚染対策の決め手は何か
(トレーサビリティの確立、アクセス制限等をどのように組み合わせるべきか)
2. 容器・包装における留意点は何か
3. 脆弱な工程の洗い出しとその保護対策を決定するリスク分析を行う上での留意点は何か
4. 当局(警察・保健所)、マスコミとはどのように連携・対応すべきか

□総括・閉会の辞 (16:15~16:20)

コーディネータ 湯川 剛一郎氏

参加規定と参加申込書

■受講料(1名につき)

39,900円(38,000円+消費税)

*テキスト代、昼食代、コーヒー代を含む。

(ランチブレイク:12:40~13:30)
(コーヒーブレイク:15:00~15:15)

■定員

60名(定員に達し次第、お申込みを締め切らせていただきます。)

■会場

飯田橋レインボービル1階「C・D会議室」

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11 電話03(3260)4791

■参加規定・お問い合わせ

〔申込方法〕

■切り取り線内の参加申込書に必要事項を記入の上、郵送又は
FAX(04-7184-7912)にてご送付下さい。

■お客様番号は、DMにあるお名前の下の番号をお書き下さい。

**定員制(60名)につき、お申し込みは
お早めにお問い合わせ致します。**

■折り返し受講証と請求書をお送り致しますので、一週間以内に
受講証が届かない場合はご連絡下さい。受講証は当日受付にご
提示下さい。

■先着順に定員に達し次第締め切らせていただきますので、申し
込みはお早目にお問い合わせ致します。

(お支払方法=振込先)

■参加費(受講料+消費税)のお支払いは開催日前日迄に下記口座
にお振込願います。

■振込先(口座名=株)サイエンスフォーラム)

郵便振替口座(00100-3-23302)

※お支払いはなるべく郵便振替をご利用下さい。

千葉銀行 天王台支店(普通No.3368360)

三井住友銀行 神田支店(当座No.228275)

みずほ銀行 本郷支店(当座No.0131565)

〈ご注意〉

- キャンセルは開催日3日前までに必ずご連絡をお願いします。
(土・日含まず)
- 上記以外の参加費の払い戻しは致しませんので、申込者がご
都合の悪い場合は代理の方の出席をお願い致します。
- テキストは会場でお渡し致します。

No.91118

〔第3回〕食品の化学物質対策研究会

参加申込書

■参加申込日 2011年 月 日 (株)サイエンスフォーラム殿

お客様番号	
会社名	(フリガナ) (正式名称)
住所	〒
TEL	(内線)
FAX	
参加者氏名	
所属部署名	
役職名	
E-mail	
参加者氏名	
所属部署名	
役職名	
E-mail	
●受講料 [39,900円(38,000円+消費税)] × 名 = 円	

*部課名・役職名も必ず記入下さい。

■通信欄

●請求書送付先(但し、送付先が参加者と同一の場合は不要です)

【備考】

*今後、記載された内容をもとに、書籍・セミナーご案内の情報ご提供の際等に利用
させていただきます。ご不要であれば、右記にチェックを入れて下さい。

DM案内不要

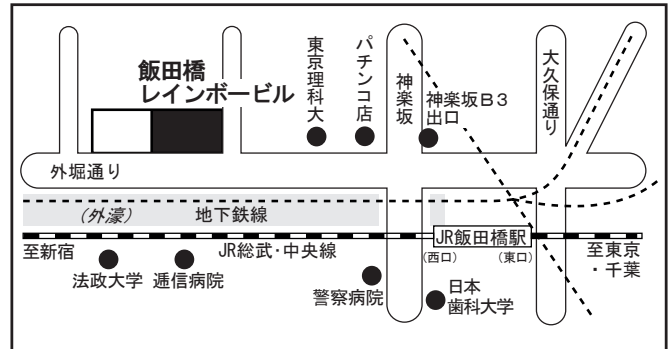
■(株)サイエンスフォーラム記入欄

受領日	申込番号	受講証発送日	摘要

私たちは、新しい食の開発・市場
創造と安全確保のお役に立ちます。

■会場案内図

■会場 飯田橋レインボービル



JR 飯田橋駅西口 徒歩5分

地下鉄 東西線・有楽町線・南北線・大江戸線

飯田橋駅神楽坂B3出口 徒歩5分

■お申込み・お問い合わせは下記へ



私たちはintelligenceを提供します!!

株式会社 サイエンスフォーラム

〒270-1173 千葉県我孫子市青山4-1-207

TEL. 04(7128)5461 FAX. 04(7184)7912

http://www.science-forum.co.jp